

令和 8 年度事業計画書



社会福祉法人 鳳雄会

目 次

I	法人本部	1
	1. 基本理念・方針	1
	2. 令和 8 年度事業計画	1
	3. 中長期計画（目標）	3
	4. 組織図	4
II	エンジェルホーム	5
	1. 基本理念・方針	5
	2. 令和 8 年度事業計画	5
	3. 中長期計画（目標）	6
	4. 研修計画	7
	5. 行事計画	8
	6. 組織図	9
III	ほうゆう・キッズホーム	10
	1. 基本理念・方針	10
	2. 令和 8 年度事業計画	10
	3. 中長期計画（目標）	12
	4. 研修計画	13
	5. 行事計画	14
	6. 組織図	15
IV	子ども未来サポートセンターほうゆう	16
	1. 基本理念・方針	16
	2. 令和 8 年度事業計画	16
	3. 中長期計画（目標）	16
V	ほうゆうの里	17
	1. 基本理念・方針	17
	2. 令和 8 年度事業計画	17
	3. 中長期計画（目標）	20
	4. 研修計画	21
	5. 行事計画	22
	6. 組織図	23
VI	ほうゆうベビーホーム	24
	1. 基本理念・方針	24
	2. 令和 8 年度事業計画	24

	3. 中長期計画（目標）	26
	4. 研修計画	27
	5. 行事計画	28
	6. 組織図	29
VII	子ども未来サポートセンターやちよ	30
	1. 基本理念・方針	30
	2. 令和 8 年度事業計画	30
	3. 中長期計画（目標）	30
VIII	ゆうゆう保育園	31
	1. 基本理念・方針	31
	2. 令和 8 年度事業計画	31
	3. 中長期計画（目標）	33
	4. 研修計画	34
	5. 行事計画	35
	6. 組織図	36
IX	ゆうゆう苑	37
	1. 基本理念・方針	37
	2. 令和 8 年度事業計画	37
	3. 中長期計画（目標）	38
	4. 研修計画	39
	5. 行事計画	40
	6. 組織図	41
X	ゆめ	42
	1. 基本理念・方針	42
	2. 令和 8 年度事業計画	42
	3. 中長期計画（目標）	43
	4. 研修計画	44
XI	ゆうか	45
	1. 基本理念・方針	45
	2. 令和 8 年度事業計画	45
	3. 中長期計画（目標）	46
	4. 研修計画	47
	5. 行事計画	48
	6. 組織図	48

I. 法人本部

1. 基本理念・方針

【理念】

利用者様お一人おひとりのニーズにあった福祉サービスと柔軟な取組により、希望をもって、安心、快適で心豊かな暮らしができるよう、地域社会におけるケアの拠点となり、地域に開かれた施設を目指します。

【方針】

- 1) 一人一人の心身の特性を考慮した支援を行います
- 2) 安心して心豊かな暮らしができるように環境を整えます
- 3) 地域一体となり開かれた施設づくりをします

【モットー】

- 笑顔で挨拶
- 楽しく協働
- 正しくほうれんそう（報告連絡相談）
- 重ねて確認

2. 令和8年度事業計画

社会福祉施設全体の課題として、難しくなっていく人材確保であり、採用の方法である。

増々、外国人の雇用も増えるであろう、また職種によっては、高齢者の採用もあり、多種多様な人材確保が必要となると思われます。こうした状況の中、業務が増え、地域共生社会の実現も困難であり、現場の対応も複雑多様化となり、煩雑になると思われます。

現場では、職員の知識やスキルを高めるための勉強会などが必要とされるため、施設内外研修を行う機会をなるべく多く設けるようにしたいと思います。

また、災害対策としてBCP（業務継続計画）の策定見直しを行い、福祉避難所としての役割・地域環境の変化を考慮し、地域共生社会の支援に向き合った見直しをもり込んでいきたいと思ひます。

1) 役員・評議員

	定数	任期
理事	6名	R7年6月～R8年度決算における定時評議員会開催時まで
監事	2名	R7年6月～R8年度決算における定時評議員会開催時まで
評議員	7名	R7年6月～R10年度決算における定時評議員会開催時まで

2) 運営施設（事業）一覧

事業名（施設名）	定員
社会福祉事業	
乳児院エンジェルホーム	20名
子育て短期支援事業	
乳児院ほうゆうベビーホーム	29名
子育て短期支援事業	
児童養護施設ほうゆう・キッズホーム	38名
地域小規模児童養護施設西棟	6名
地域小規模児童養護施設東棟	6名
子育て短期支援事業	
児童家庭支援センター子ども未来サポートセンターほうゆう	
児童家庭支援センター子ども未来サポートセンターやちよ	
ゆうゆう保育園	90名
一時預かり事業	
子育て支援センター	
特別養護老人ホームほうゆうの里	100名
短期入所事業	20名
老人デイサービス	10名
居宅介護支援事業所	
特別養護老人ホームゆうゆう苑	80名
短期入所事業	20名
老人デイサービス	15名
障がい者向けグループホームゆうか	20名
短期入所事業	1名
公益事業	
訪問看護ステーションゆめ	

3) 地域における公益的な取り組み

地域に向けた事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てサロン・ボランティアの受け入れ ・ 里親研修・フォスタリングチェンジ講習会 ・ 里親家庭の支援 ・ 給食のお試し食事会 ・ 地域における他法人との行事、災害時協力 ・ 健康体操の開催・認知症カフェ
福祉教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員の講習会、見学会 ・ 学生の見学、説明会
地域活性化の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空手教室

3. 中長期計画（目標）

- 地域支援
 - 1) 各事業所より地域のニーズの把握に努める
 - 2) 地域との連携を持つ
 - 3) 地域への広報活動を行う

- 人材育成
 - 1) 役員、役職、職員育成の充実を図る
 - 2) 実習生の積極的な受け入れ
 - 3) ボランティアの受け入れ、活用

- 環境整備
 - 1) 働きがいのある職場の整備
 - 2) 生活・ケア環境の向上
 - 3) 法人内施設の協働・交流

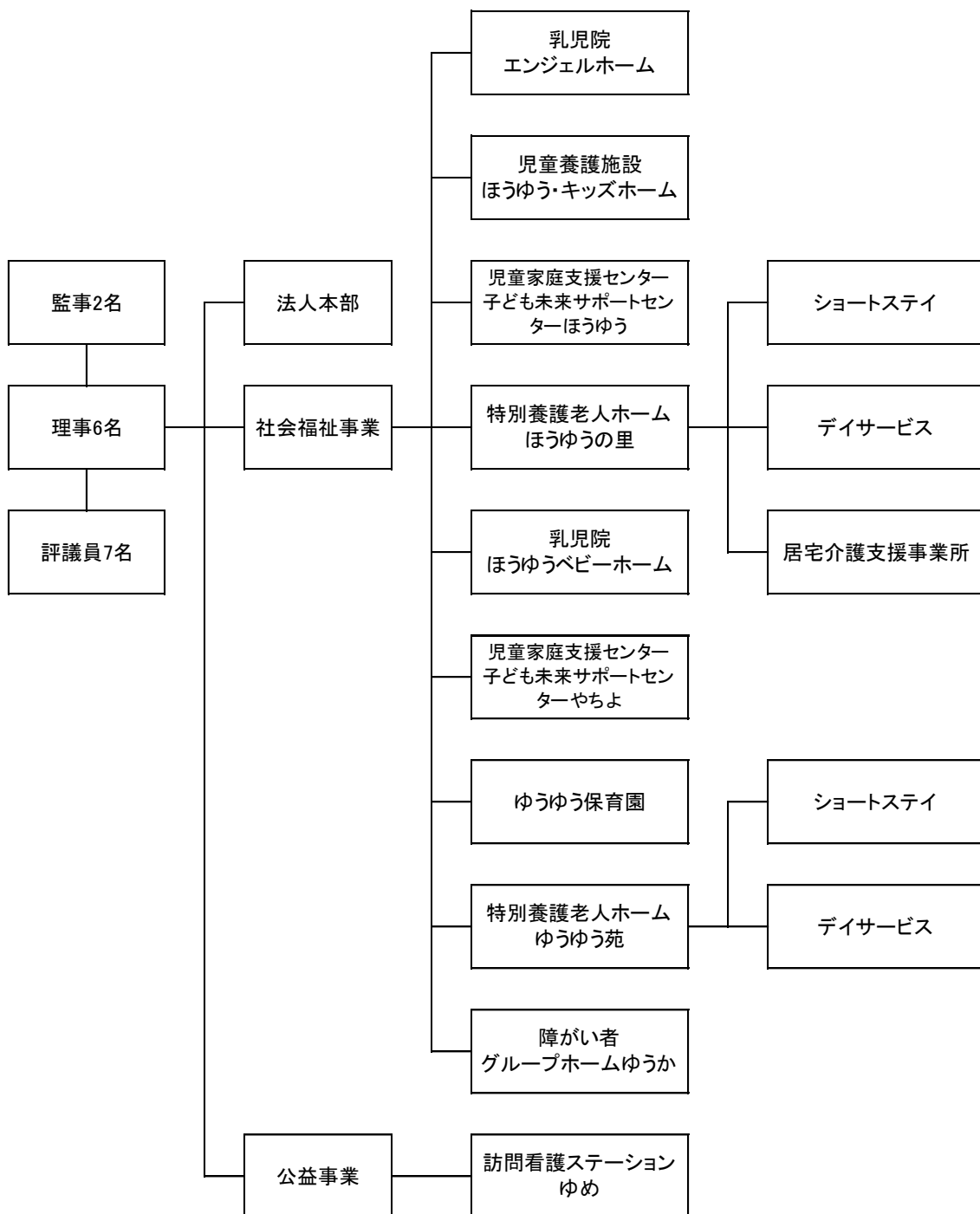
- 育児休業取得促進の方針
 - 1) 育児休業取得の相談支援の体制構築
 - 2) 育児休業を取得しやすい環境の整備

一般事業主行動計画

目標 1：令和 9 年 3 月までに、所定外残業時間の 6 割削減、育児介護子育てを行う労働者の所定外労働時間については 0 とする。

目標 2：令和 9 年 3 月までに、育児休業取得率 90%、男性の子育て休暇の取得制度の導入

4. 組織図



II. 乳児院 エンジェルホーム

1. 基本理念・方針

【理念】

- 1) 保護を要する乳児を昼夜を分かたず養育する
- 2) 乳児の心身の特性を考慮し、医学的配慮の下医師、看護師、保育士、家庭支援専門相談員、心理職、個別対応職員、栄養士等の連携を持って養育する
- 3) 身体、精神的発達促進のため十分配慮する
- 4) 複雑化する家庭機能を補う子育ての支援をする
- 5) 地域一体となり開かれた子育て支援施設を目指す

【方針】

- 1) 広々とした空間で、のびのびと安心した生活を送ります
- 2) どんな子どもも、わけへだてなく一人ひとりを大切に健やかに育つように心掛けます
- 3) 子どもたちの良いところをたくさん見つけ伸ばします
- 4) 担当養育制による愛着形成に努め、子ども一人ひとりに合った養育を目指します
- 5) 家庭機能の回復を援助するとともに、保護者や里親と子どもたちを継続的に支援します

2. 令和8年度事業計画

乳児院は高月齢化しており、入所児の年齢の幅が広がっています。年齢が違えば活動内容も変わってくる為、個々に合わせた活動が必要になります。こどものニーズを把握しそれに沿った活動の提供を行い、こども一人ひとりの満足に繋げていきます。又、必要に応じて幼稚園や児童発達支援に通えるよう関係機関と連携し、必要な支援を必要な児に繋がられるようにしていきます。

人材確保・人材育成は永遠の課題になります。まずは育成できる職員を育てることを今年度の課題として取り組んでいきます。ユニット単位で育成し、全員が育成役になるとともに全員が育成される立場にもなり、ユニット全体で成長することを目指します。「こどもにとっての最善を考えて行動する」という同じ目的を持つことで、チーム力の向上を目指します。

SS 利用希望児の増加や、子育てひろばへの参加親子の数から地域支援の必要性をとっても感じています。約 20 万件の虐待相談件数のうち施設入所になるのは 2%であり、残りの 98%は地域の中にいます。その 98%のこどもたちや家庭への支援も乳児院の役割になります。SS の希望にできる限り応じたり、利用者のニーズを把握しながら子育てひろばの充実を図り、親子が安心して来られる息抜きの場所を作りアウトリーチ型の支援を継続していきます。

昨年度まで取り組んできたライフストーリーブックのひな型が完成し、今年度から活用していくこととなります。当院で大切に養育された経験がこどもたちの生きる糧となるよう、出自や成長の過程を丁寧に記録に残し、次の養育者へ繋げることを意識して作成していきます。

エンジェルホームにおける日々の養育や様々な取り組みがこどもたちや家族への支援に繋がっているということを実感できるよう可視化し、職員一人ひとりの自信や達成感に繋がる様にしていきたいと思えます。

こどもたちの最善の利益の為にという信念を基にチーム養育で一つひとつ実現していきます。

3. 中長期計画（目標）

2030年までの実現を目標とする

- 1) 保育・養育の質の向上
 - ・施設内外の研修の参加により知識・手技の研鑽を積む
 - ・職員一人ひとりが自主学習できるような環境を整える

- 2) 小規模グループケアの推進・体制整備
 - ・小規模グループでの生活を通して家庭的できめ細やかなケアを提供していく
 - ・家庭養育を理解した上での家庭的養育の実施を目指す

- 3) 地域支援の充実
 - ・子育て短期支援事業を専用職員で実施出来る体制作りを目指す
 - ・地域の需要に合わせた柔軟な職員確保の実現
 - ・ひなたぼっこへの参画により地域資源となる事を目指す
 - ・必要に応じて要保護児童対策地域協議会に参画し、要保護児童の支援に繋げる

- 4) 人材確保・人材育成
 - ・実習生が成功体験を積める実習指導をする事により人材の確保に繋げる
 - ・実習指導を強化する事により職員一人ひとりの知識の向上を目指す
 - ・アセスメント力を強化する事により職員一人ひとりが正しい判断ができるようにする

- 5) 権利擁護意識の強化
 - ・「子どもの権利条約」、「こども基本法」の理解により権利擁護意識の向上を目指す
 - ・権利擁護を意識した関わりにより、被措置児童虐待の防止に努める

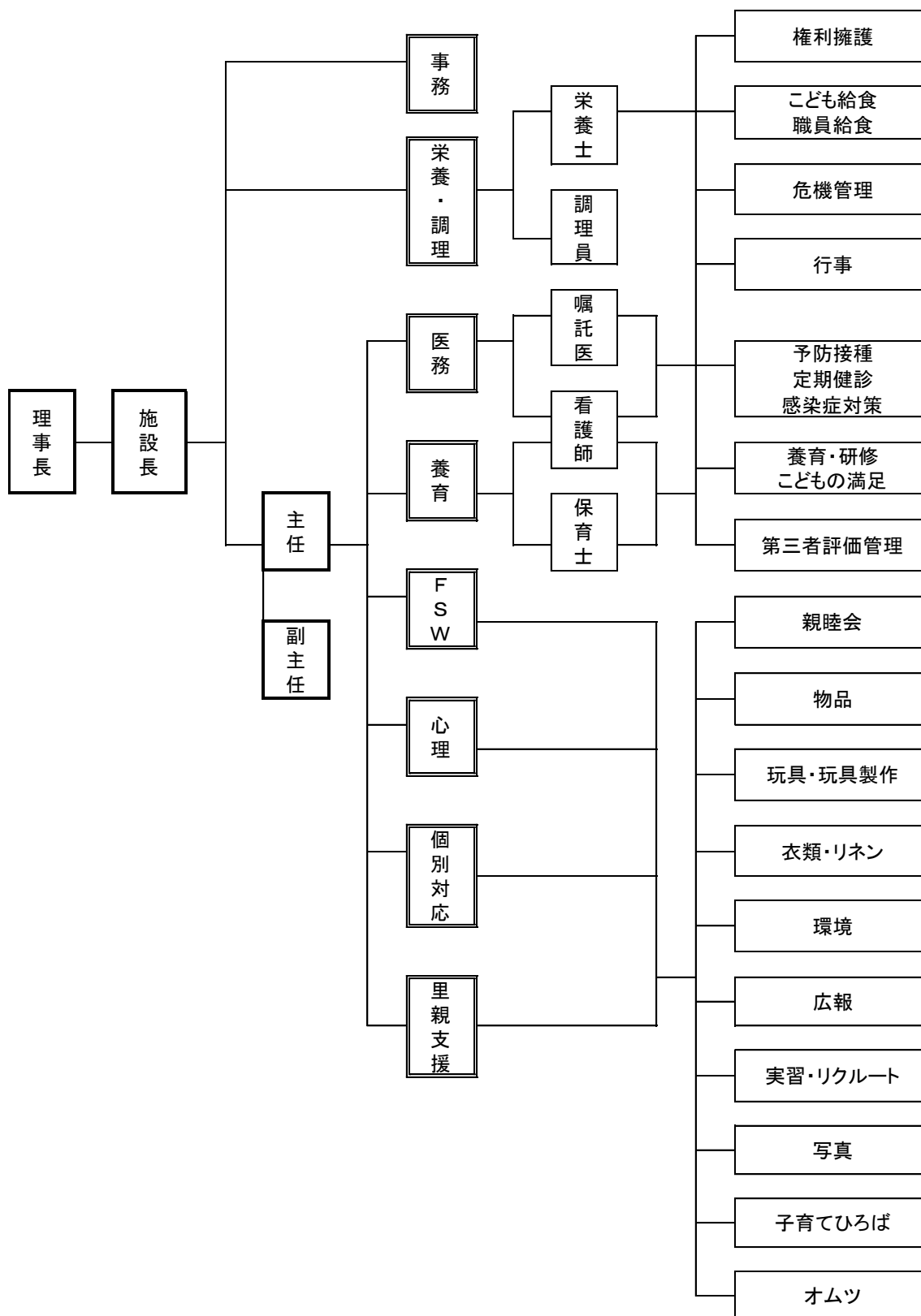
4. 研修計画

	内部研修	外部研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・令和8年度事業計画について ・虐待・プライバシー ・勉強会「離乳食形状について」 栄養士より 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修 ・勉強会「排便コントロール」 NSより 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都社会福祉協議会乳児院部会 新任研修会 ・千葉県児童福祉施設協議会初任者 研修
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・勉強会 「事例から考える乳児院の権利擁護」 権利擁護委員会より 	<ul style="list-style-type: none"> ・第60回関東ブロック乳児院研究 協議会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・勉強会「当事者意識」 主任より 	<ul style="list-style-type: none"> ・第69回全国乳児院研修会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・勉強会 「成功体験に繋がる実習指導」 実習係より 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・勉強会「里親支援について」 里専より 	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチケア指導者認定講習会 ・ファミリーソーシャルワーク研修 会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・勉強会「SIDS」 NSより 	<ul style="list-style-type: none"> ・第75回全国乳児院協議会 ・千葉県児童福祉施設協議会初任者 フォローアップ研修
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・勉強会「研修報告会」 研修参加者より 	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回関東ブロック乳児院職員 研修会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 「保護者支援の基本的視点」 FSWより 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・勉強会「こどものスキンケア」 NSより 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 ・勉強会「研修報告会」 研修参加者より 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児院上級職員セミナー ・乳児院医療・看護セミナー
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース研修・事例検討会 	

5. 行事計画

	行事名	毎月実施
4月	お花見歓迎会 いちご狩り BBQ	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
5月	端午の節句 ディズニー	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
6月	ディズニー	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
7月	七夕 夏祭り	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
8月		誕生日行事 誕生日会 グループ行事
9月	お月見 敬老会 お泊り遠足(鴨川シーワールド)	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
10月	ハロウィン	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
11月	ディズニー	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
12月	冬至 クリスマス会	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
1月	お正月 初詣	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
2月	節分	誕生日行事 誕生日会 グループ行事
3月	桃の節句	誕生日行事 誕生日会 グループ行事

6. 組織図



Ⅲ. 児童養護施設 ほうゆう・キッズホーム

1. 基本理念・方針

【理念】

- 1) 児童の最善の利益を追求します。
- 2) 児童の権利を擁護します。
- 3) 児童一人ひとりの環境や発達に応じた自立を支援します。
- 4) 児童が安心して生活できる環境を確保します。

【方針】

- 1) 他人との思いやりの涵養
- 2) 基本的生活習慣の確立
- 3) 安全・健康の確立
- 4) 学校生活への適応
- 5) 経済概念の養成
- 6) 社会性の育成
- 7) 道徳心の育成
- 8) 自己の確立
- 9) 個性の伸長

以上の【方針】を踏まえ、ほうゆう・キッズホームでは子ども達と話し合い、以下の【ビジョン】を掲げています。

- あ … 遊んで健康第一
じ … 自分の気持ちを伝えよう
さ … 最上級の挨拶を
い … 命あるものを大切に

(西洋あじさいの花言葉に『一家団欒』という意味があります)

2. 令和8度事業計画

1) 事業の基本方針

本年度は、子どもの権利擁護を基軸とし、「自立支援のシステム化」と前年度から引き続き「人材確保・育成基盤の強化」を重点課題とします。小規模グループケアの特性を活かし、家庭的な環境の中で、児童が自己肯定感を持ち、社会へ羽ばたくための力を養えるよう努めます。

2) 重点事業項目

① 自立支援体制の高度化と地域連携

「自立準備プログラム」のシステム化:退所を見据えた家計管理・調理・契約実務を段階的に学ぶ仕組みを自立支援担当職員を中心に構築します。また、高校中退等で今後の進路が定めていない児童への支援として「自立・就労サポートセンター」等を活用するためのシステムを構築します。

外部機関連携:千葉市児童相談所やアフターケア事業所との連携を強化し、退所後の「伴走型フォローアップ（家庭訪問・相談支援）」を仕組みとして各専門職が中心となって運用します。

② 戦略的人材確保と定着支援

メンター制度の拡充:若手職員にユニットリーダーをメンターとして配置し、精神的サポートと技術伝承を行います。

リクルーティング改革:就職説明会等に参加した学生の1割が採用試験まで進む傾向から、募集人数の10倍の数の学生が説明会に参加してもらえるよう、職員出身校や千葉県内の養成校への積極的な講師派遣・交流を実施。SNSを活用した「現場の見える化」により、ミスマッチのない採用を推進します。また、実習指導の内から魅力ある業種・職場をアピールする事で実習生からの人材確保を強化します。

③ 専門性の向上とコンプライアンス

職員の資質向上:千葉県内・外の他施設への「訪問研修」を実施し、支援技術の客観的評価と向上を図るとともに、ほうゆう・キッズホームが抱えている課題の改善に努めます。

法的遵守:こども基本法に基づく権利擁護の徹底、および「こども性暴力防止法」に対応した安全管理の周知を図ります。

規範の徹底:福祉専門職としての「心構え」と、子どもや地域社会の模範となる「身だしなみ」を職員行動指針として再徹底します。

④ 情報保護と透明性の確保

個人情報保護:ICT活用に伴うセキュリティ対策の強化と、SNS発信におけるプライバシー保護ルールの厳守に向けて、研鑽・研修を徹底します。

3. 中長期計画（目標）

1) 『小規模かつ地域分散化』

児童福祉法第3条の2の規定に則り、家庭的環境に近づけるべく一般家庭と変わらない生活環境整備を昨年度に引き続き力を入れていきます。

近年、中学生以上の高齢児の入所が増加しており、子どもが抱える課題も変化しています。特性のあるケアニーズの高い子どもの増加に対応していくため、全ての子ども部屋の個室化により、子どものプライベート空間の確保とプライバシー保護を目指します。

現在、小規模グループケアホーム1グループ3名の職員配置を2グループで1ユニットとして計6名の職員で運営しているところに、ユニットリーダーを1名配置。将来1ユニット7名体制で個としてのユニット運営を目指し、国の掲げる家庭養育により近づけるよう努めます。

2) 『高機能化』

災害時等の緊急時でも業務継続（BCP 業務継続計画）への対応およびケアニーズが高い子どもの増加に対応出来るよう職員数の充足を進めていきます。

また、子どもの施設生活期間が5年以内におさまるように早期の家庭復帰や里親委託の推進に努めていきます。

3) 『多機能化・機能転換』

一時保護委託の受入体制の整備を検討していきたいと考えます。また、里親支援専門相談員と自立支援担当職員が、付置している児童家庭支援センターとの協働のもと、里親家庭や支援を要する子育て中の家庭。また、施設を退所した子どもやその家庭に対し、充実した支援を地域に提供できる機関を目指します。

4. 研修計画

	内部研修	外部研修
4月	ディスカッション「子育て養育観」 ホーム別養育目標の共有	DV/児童虐待相談新任研修Ⅰ（県）
5月	テーマ：「個人情報保護」	新任職員研修会（千児協） 千児協合同研修会（千児協） 子どもの家庭養育推進官民協議会シンポジウム（官民協） SBI 児童養護施設職員研修・前期（SBI） DV/児童虐待相談新任研修Ⅱ（県） 児童福祉施設指導者合同研修（子どもの虹）
6月	ケース検討会議 テーマ：「こども性暴力防止法」	全国春季セミナー（性教研）
7月	アセスメント会議 テーマ：「児童福祉施設に係る感染症対策について」	児童福祉施設心理担当職員合同研修（子どもの虹） 関東ブロック児童養護施設研究協議会（関ブロ） DV/児童虐待相談新任研修Ⅲ（県）
8月		
9月	アセスメント会議 テーマ：「児童福祉施設に係る BCP について」	基幹的職員・ユニットリーダー研修（県・市） SBI ブロック別児童養護施設職員リーダー研修（SBI） 児童養護施設職員指導者研修（子どもの虹） 児童相談所等関係機関研修（千児協） 中堅職員研修（千児協）
10月	ケース検討会議 テーマ：「施設内虐待防止研修」	基幹的職員・ユニットリーダー研修（県・市） 全国里親大会（厚労省） 千葉県里親大会（県） 関東ブロック児童養護施設職員研修（関ブロ） 社会的養護のこどものくらしと自立を考えるシンポジウム（NPO）
11月	ケース検討会議 テーマ：「保健（1）」	SBI 児童養護施設職員研修・後期（SBI） 新任職員フォローアップ研修（千児協） 里親支援専門相談員対象研修会（養里考） 全国児童養護施設長研究協議会（社協） 防火管理セミナー（千防管協） JaSPCAN 第32回学術集会大阪大会（JaSPCAN） 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会（社協）
12月	テーマ：「心理検査結果の理解の仕方」	基幹的職員・ユニットリーダー研修（県・市） 児童養護施設職員指導者研修（あかし） 全国秋季セミナー（性教研） 日本フォスターケア研究大会（JaFCA）
1月	ケース検討会議 テーマ：「保健（2）」	基幹的職員・ユニットリーダー研修（県・市） ファミリーソーシャルワーク研修会（社協）
2月	ケース検討会議 テーマ：「食育」	全国児童養護施設中堅職員研修会（社協）
3月	ケース検討会議 テーマ：「保健（3）」	東京・九州フォーラム（SOS 子どもの村）

※上記以外に、2回その他施設訪問研修を予定

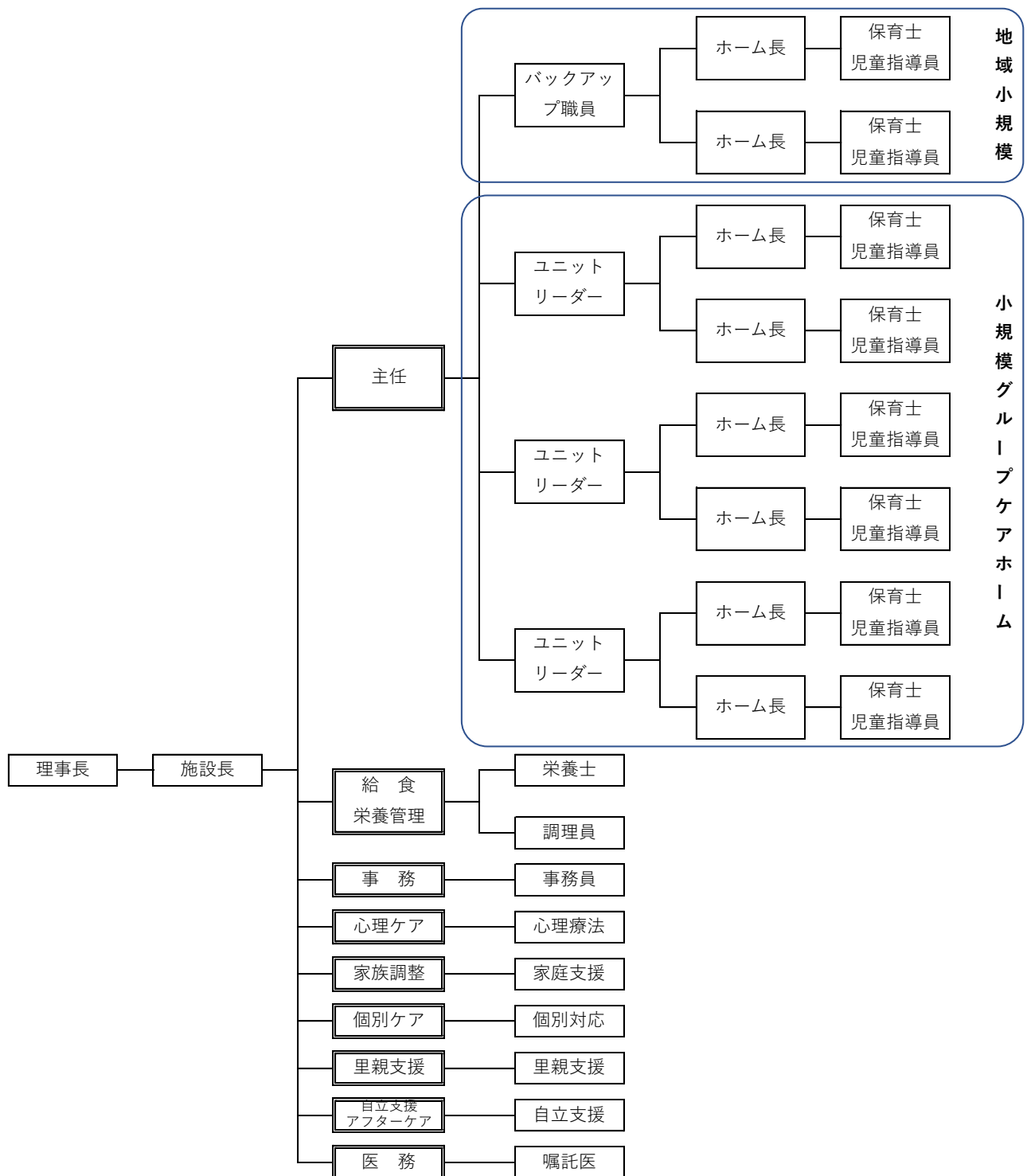
太字：処遇改善加算対象研修

5. 行事計画

	行事名	毎月実施
4月	花見（各ホーム企画） 入園・入学祝い（各ホーム企画）	誕生会 避難及び消火訓練
5月	大型連休行楽（各ホーム企画） 社会・就労体験（NPO 協力）	誕生会 避難訓練及び消火訓練
6月	相撲大会（千葉市企画）	誕生会 避難訓練及び消火訓練
7月	夏祭り 夏休み行楽（各ホーム企画）	誕生会 避難訓練及び消火訓練
8月	夏休み行楽（各ホーム企画） 千種町納涼大会（町内会企画） 流しソーメン 球技大会（千児協企画） キャンプ 家庭生活体験（ボランティア家庭協力）	誕生会 避難訓練及び消火訓練
9月		誕生会 避難訓練及び消火訓練
10月	オセロ大会（千児協企画） ハロウィンパーティー	誕生会 避難訓練及び消火訓練
11月	七五三詣り フットサル交流会（千児協企画） キラット楽演祭	誕生会 避難訓練及び消火訓練
12月	クリスマス会	誕生会 避難訓練及び消火訓練
1月	初詣（各ホーム企画） 社会（家庭）復帰促進（企業・退所児交流）	誕生会 避難訓練及び消火訓練
2月	節分 マラソン大会（千児協企画）	誕生会 避難訓練及び消火訓練
3月	南総サッカー大会（千児協企画） 卒園・卒業祝い（各ホーム企画）	誕生会 避難訓練及び消火訓練

※上記以外に東京ディズニーリゾートへの外出を予定

6. 組織図



IV. 児童家庭支援センター 子ども未来サポートセンターほうゆう

1. 基本理念・方針

【理念】

地域の児童家庭及び、より支援を必要とする児童家庭の福祉の向上のため、地域の様々な社会資源とつながり支援します。

【方針】

- 地域の児童家庭の様々な問題について真摯に対応し、最善の支援を目指します。
- 関係機関と連携し、児童福祉におけるネットワーク強化を目指します。
- 児童の安全や、より多くの見守りが求められる支援では、必要なスキルを生かし柔軟な支援を目指します。

2. 令和8度事業計画

- 1) 地域・家庭からの相談に応ずる事業の実施
- 2) 市町村の求めに応ずる事業の実施
- 3) 都道府県又は児童相談所からの受託による指導の実施
- 4) 里親等への支援の実施
- 5) 関係機関等との連携・連絡調整の実施
- 6) 心理相談事業の実施
- 7) 乳児院と協働して地域交流事業の実施
- 8) 児童養護施設の自立支援相談員と協働して地域支援を実施
- 9) 書類の電子化に伴う業務の効率化を実施

3. 中長期計画（目標）

- 地域で安心・安全に生活することが困難な家庭に支援が行きわたるように活動していく。
- 要保護・要支援児童に関わる家庭への支援をより充実させるため、その必要性を行政機関やその他関係機関に発信していく。
- 多くの地域住民や関係機関から子ども未来サポートセンターほうゆうの活動目的を理解してもらい、利用されることで、地域の相談支援機関として中心的な役割を担えるようにしていく。

V. 特別養護老人ホーム ほうゆうの里

1. 基本理念・方針

【理念】

- 1) 明るい笑顔がいっぱいのこころ温まる時間を過ごしていただきたい
- 2) 落ち着いた安心できる暮らしをこころを込めてお手伝いしたい
- 3) 高齢者が尊厳をもって安心して暮らすことができるように支援します

【方針】

- 1) 利用者様・入居者様おひとりお一人の人格を尊重し、その人らしさを支えます。
- 2) 自分で出来ることは自分で行えるように、自立支援を目指した介護を行います。
- 3) 利用者様・入居者様中心の介護を提供します。
- 4) 利用者様・入居者様おひとりお一人の歴史を尊重します。
- 5) 利用者様・入居者様おひとりお一人の体験を尊重します。
- 6) 利用者様・入居者様おひとりお一人の安全を確保します。
- 7) 利用者・入居者様おひとりお一人の健康を守ります。
- 8) 職員ひとり一人が「気づき」を大切にし、より良いケアを提供できるよう日々、研修・研究に励み、専門性の向上に努めます。

2. 令和8度事業計画

現在、ほうゆうの里では慢性的な人員不足により、日常業務の負担が増加し、ケアに十分な時間を割くことが難しくなり事故件数の増加や記録漏れなど、ケアの質の低下が懸念される状況となっています。

また、物価や光熱費の高騰により運営コストが増加している一方で、入居率の低下、ショートステイの閉鎖による減収が重なり資金面でも厳しい状況が続いています。

こうした状況を改善するため、費用対効果の高い介護DXを優先的に導入することが有効と考えています。インカムの導入は比較的低コストでありながら、職員間の連携を大幅に改善し、無駄な移動を減らすことで業務効率を高める効果が期待できます。

また、記録業務に音声入力やテンプレートを活用することで、1日あたり30分から1時間程度の業務削減が見込まれ、記録漏れの防止にもつながります。さらに、見守りセンサーを段階的に導入することで、夜勤巡視の負担を軽減し、転倒事故の予防にもつながるため、中長期的に高い効果が期待できます。

入居者数を増やす取り組みとして可能な範囲から段階的にショートステイの再開を目指します。まずは1～2床のみの部分再開から始め、緊急ショートを中心に受け入れることで、ケアマネジャーとの関係を再構築します。そして当施設が持つユニット型と従来型の両方の特徴を明確に示し入居検討者に対して選ばれやすい施設づくりを目指します。

令和8年度は、業務効率化による人員不足の緩和、ケアの質向上による入居者と家族の安心感の向上、入居者確保による収益改善、そしてショートステイ再開による地域連携の強化を柱として取り組みを進めてまいります。

[介護支援専門員]

- 1 利用者の自立支援を第一に考え、入居者/家族/専門職員と協働し施設サービス計画書を作成する。
- 2 定期的にモニタリングを実施し、計画に沿って支援が行われているかを確認し、必要に応じて計画書の見直しを行いながら適切な支援につなぐ。
- 3 入居者の状態の把握に努め、介護保険サービスの適切な利用を支援する。
- 4 家族への定期的な近況報告と面会時の状態報告を通して、家族の不安を解消するよう努める。

[生活相談]

- 1 空床を他の施設と連携しユニットおよび多床室、ショートを満床にする事に努める。
- 2 ボランティアなどを利用し入居者様に生活の楽しみをご提供できるように努める。
- 3 入居者様、ご家族様に寄り添い、適切且つ信頼を図れるようにする。
- 4 ジョブメドレー研修を活用、集団研修の場を作り職員のスキルアップを図る。

[看護]

- 1 入居者との対話・・・継続強化
- 2 外国人介護に徹底したコミュニケーションをとることができるよう業務上での会話をしっかりと指導する・・・1チームで行動できる。

[栄養給食]

- 1 入居者の健康状態や身体状況に応じた栄養管理
- 2 ミールラウンド実施と入居者様の状況把握に努める

[機能訓練]

- 1 入居者様の気持ちに沿った個別の訓練を実施するよう努める。また、口腔体操を含めた集団での活動も行う。
- 2 多職種と情報交換、情報共有を図り、入居者様の状況把握に努める。
- 3 車いすや離床センサー、特殊マットレスなどの管理を行い、必要な入居者様に提供できる体制を維持する。

[事務]

- 1 ご家族様からの正確な情報収集とご家族様への的確な情報提供
- 2 介護保険をはじめとする業務全般の知識の向上
- 3 円滑な事務処理を行う為、職員間での報告・連絡・相談（報連相）の徹底

[デイサービス]

- 1 地域密着通所介護らしく一人一人に寄り添った介護を目指していく。家族と連携を

取りながら自宅で快適に過ごせる様に介護をしていく。楽しく笑って過ごせるようなDSを目指す。

- 2 「個別機能訓練」を充実したい。もっと一人一人にあった機能訓練をしていきたい。みんなが楽しく訓練をやれるように色々工夫して行きたい。訓練士だけでなく介護士を巻き込んだ訓練をしていきたい。
- 3 利用者増を目指したいが職員増も目指したい。職員がいなければ寄り添った介護は目指せない。どちらも増を目指したい。

[ABユニット (ショートステイ)]

- 1 早期の利用制限解除
- 2 再開時までのモチベーションの維持

[CDユニット]

- 1 感染症をユニット内に持ち込まない。持ち出さない。拡げない。
- 2 ユニット内レクリエーションを取り入れてご入居者の笑顔を引き出す。
- 3 ご入居者一人ひとりライフスタイルを尊重し、可能な限り維持ができるようにユニット職員一丸となって支援する。

[EFユニット]

- 1 スタッフ一人ひとりが心に余裕を持ち入居者様とコミュニケーションをとる。入居者様にストレスを感じさせない。ユニット内で定期的にレクリエーションを行う。
- 2 感染対策の徹底
- 3 入居者様が快適に暮らし、毎日楽しく過ごせるように環境を作る。
- 4 報告、連絡、相談の徹底。
- 5 言葉を理解できなかった時その場で再度確認する。
- 6 入居者様への言葉遣いに気を付ける。

[GHユニット]

- 1 早期の利用制限解除。
- 2 再開時までのモチベーションの維持。

[Iユニット]

- 1 共感をもって介護に携わる。
- 2 Jユニットと連携をもって業務にあたる。
- 3 OJTによる職員のスキル向上、指導を実施する。またリーダー及び介護リーダーの育成。

[Jルーム (多床室)]

- 1 日常生活動作において声掛けを行いながらやる気を起こさせ、より安定した生活が送れるように支援していく。
- 2 いつもと違う、に気づけるようかかわっていく。
- 3 多職種とも連携し入居者への安全に配慮する。

- 4 記録、申し送りの重要性を理解し職員間で情報を共有する。

[居宅介護支援事業所]

- 1 利用者様の意思及び人格を尊重し、安心して在宅生活を継続出来るように常に相手の立場に立って、サービスを提供する。
- 2 保健・医療・福祉サービスなど多職種との連携を行う。
- 3 介護保険サービスの他、様々な地域の生活支援サービスと連携し利用者様の生活を支える。
- 4 家族の介護負担軽減や介護離職を防ぐように支援する。
- 5 今後、社会全体がデジタル化の方向性にある為対応できるように努力する。

3. 中長期計画（目標）

- 1) 人材確保と育成
- 2) 全てのユニット（ショートステイユニット含）の再開
- 3) 介護予防におけるさらなる取組み

4. 研修計画

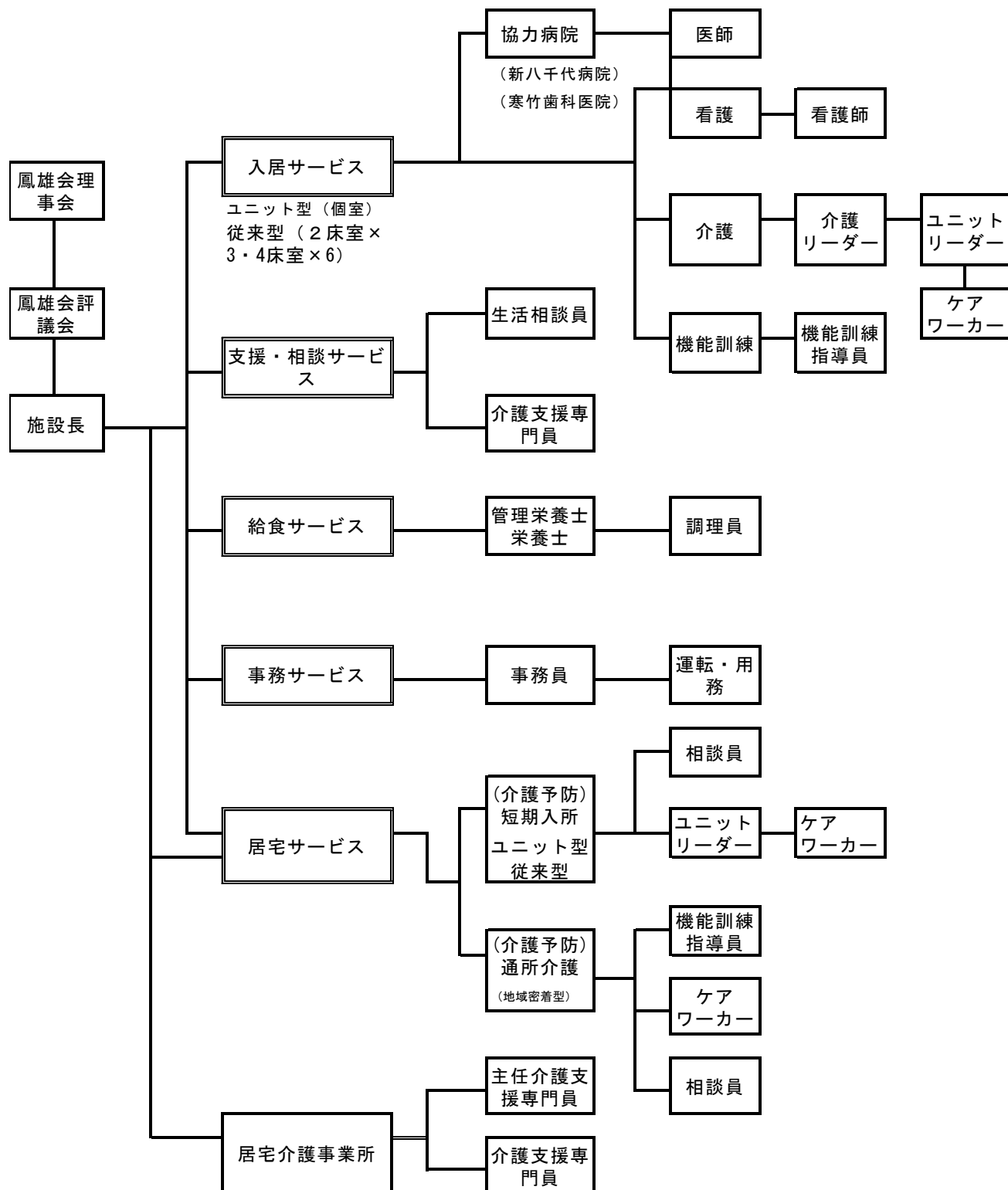
月	施設内			施設外		
	研修内容	対象者	担当者	研修内容	対象者	担当者
4月	全体研修	全職員	施設長 研修担当職員	随時外部研修受講 高齢協等主催（新人研修）	全職員 新規入職者	相談員
	事故発生防止研修 身体拘束廃止研修					
	AED講習		看護主任			
	新任職員研修	施設長/介護主任				
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
5月	外部研修（中堅・リーダー）	全職員	外部講師	随時外部研修受講 高齢協等主催（新人研修）	全職員 選抜介護職員 新規入職者	相談員 施設長
	オムツ講習	全職員	外部講師（カミ商事）			
	新任職員研修	新規入職者	施設長/介護主任			
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
6月	口腔ケア研修	全職員	外部講師（寒竹歯科）	随時外部研修受講 高齢協等主催（新人研修）	全職員 新規入職者	相談員
	高齢者虐待防止研修	全職員	介護主任・副主任			
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
7月	外部研修（中堅・リーダー）	全職員	外部講師	随時外部研修受講 高齢協等主催（新人研修）	全職員 新規入職者	相談員
	感染症研修	全職員	感染症委員会			
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
8月	褥瘡予防研修	全職員	看護主任	随時外部研修受講	全職員	相談員
	認知症研修	全職員	看護主任			
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
9月	外部研修（中堅・リーダー）	全職員	外部講師	随時外部研修受講 高齢協等主催（新人研修）	全職員 新規入職者	相談員
	総合防災訓練	全職員	防火防災委員会			
	新任職員研修	新規入職者	施設長/介護主任			
10月	事故発生防止研修	全職員	介護主任・副主任	随時外部研修受講	全職員	相談員
	身体拘束廃止研修					
	消防（避難）訓練		防火防災委員会			
11月	外部研修（中堅・リーダー）	全職員	外部講師	随時外部研修受講	全職員 選抜介護職員	相談員 施設長
	感染症研修	全職員	看護主任			
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
12月	口腔ケア研修	全職員	外部講師（寒竹歯科）	随時外部研修受講	全職員	相談員
	高齢者虐待防止研修	全職員	介護主任・副主任			
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
1月	栄養マネジメント研修	全職員	管理栄養士	随時外部研修受講	全職員	相談員
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
2月	移乗介助・腰痛予防	全職員	機能訓練指導員 （安全衛生委員会）	随時外部研修受講	全職員	相談員
	消防（避難）訓練	全職員	防火防災委員会			
3月	総合防災訓練	全職員	防火防災委員会	随時外部研修受講	全職員	相談員

5. 行事計画

	施設		ユニット・従来型	
	行事	担当者	レク	担当者
4月	日本舞踊（第2水曜）	レク委員会	お花見工作 お誕生日会	レク担当 居室担当
5月	武者飾り（こどもの日） 日本舞踊（第2水曜）	行事委員会 レク委員会	お誕生日会	レク担当 居室担当
6月	日本舞踊（第2水曜）	レク委員会	紫陽花工作 お誕生日会	レク担当 居室担当
7月	日本舞踊（第2水曜）	レク委員会	七夕祭り工作 お誕生日会	レク担当 居室担当
8月	夏祭り 日本舞踊（第2水曜）	行事委員会 レク委員会	夏の工作 お誕生日会	レク担当 居室担当
9月	敬老会 日本舞踊（第2水曜）	行事委員会 レク委員会	敬老会（市長来苑） お誕生日会	レク担当 居室担当
10月	運動会 日本舞踊（第2水曜）	行事委員会 レク委員会	ハロウィーン お誕生日会	レク担当 居室担当
11月	緊急災害時炊き出し訓練 日本舞踊（第2水曜）	防災・給食 委員会 レク委員会	お誕生日会	居室担当
12月	クリスマス会 日本舞踊（第2水曜）	事務所 レク委員会	お誕生日会	居室担当
1月	里神社 日本舞踊（第2水曜）	行事委員会 レク委員会	初詣 お誕生日会	レク担当 居室担当
2月	新年会（各ユニット） 日本舞踊（第2水曜）	レク委員会	節分・豆まき お誕生日会	レク担当 居室担当
3月	お雛様イベント 日本舞踊（第2水曜）	行事委員会 レク委員会	ひな祭り お誕生日会	レク担当 居室担当

適時ボランティアによるイベント開催あり

6. 組織図



Ⅵ. 乳児院 ほうゆうベビーホーム

1. 基本理念・方針

【理念】

- 1) 保護を要する乳幼児を家庭的に養育する。
- 2) 乳幼児の心身の特性を考慮して、医学的配慮のもと医師、看護師、保育士、家庭支援専門相談員、心理士、個別対応職員、里親支援相談員、栄養士等の連携を持って養育する。
- 3) 身体発育や健康に充分配慮する。
- 4) 複雑化する家庭機能を補う子育ての支援をする。
- 5) 地域一体となり開かれた子育て支援施設を目指す。

【方針】

私たちは、子どもの命と人権を守り、
子どもたちが日々心豊かにかつ健やかに成長するよう努力し、
その保護者が子どもたちによりよい養育環境を整えられるよう支援いたします。

- 1) 子どもたちをかけがえのない最も尊いものとして考え、生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利等の人権を守ります。
- 2) 一人一人の個性を大切にし、信頼関係を築き健やかな育ちを支援します。
- 3) 子どもの保護者や里親と子どもたちの家庭環境を尊重し支援していきます。
- 4) 子どもと一緒に職員も成長し、全職員が一丸となってよりよい支援を目指します。

【ビジョン】

- 1) 子どもは褒めて育てます
- 2) 子どもに対して否定的ことばは使いません
- 3) 子どもの気持ちに寄り添います

2. 令和8年度事業計画

小規模グループケアを開設し1年6カ月が経ちました。同時に課題も多く噴出していますが、メリットもあります。子どもにとってメリットな部分を生かせるよう尽力します。

1番の課題は保育士不足です。小規模化したことは以前の職員配置を上回る直接処遇が必要とされ職員の増員が不可欠です。また、小規模化は職員の孤立を生み出し職員の不安を煽ります。更に、後輩へのフォロー、育成が難しい環境であることも実感します。その為これらの問題を少しでも解消すべくユニット毎の会議及び定例（主要メンバー）会議を重視し話し合いを重ねながら創意工夫することで子どもの安心安全

な生活を保障します。

小規模での生活は子どもの楽しい気持ちにも即寄り添え嬉しい気持ちを共有できます。逆に不快感であっても養育者が即応じ不快を取り除くことができるため児の情緒の安定につながると思います。子どもも養育者にとっても安心安全な生活が確保できるよう試行錯誤を重ねたいと思います。

1) 全てのユニットを開きます

開設時の予定は6ホームでしたが現在職員不足の為5ホームのみ開き定員29名の入所を可能としています。しかし、各ホームの子どもの生活の安全、養育者の負担を軽減するためには開設当初の計画通り6ホーム開き子ども5名大人5名での生活が必須です。人材を確保し安定した養育環境を整えます。

2) 人材確保に努めます

6ホーム開くには人材確保が不可欠です。そのために各養成校や就職説明会等で当院の養育方針、施設として期待する職員像を明文化し、就活中の学生等に当院での養育についての考え方や取り組みについて分かりやすく説明し興味関心を高めたいと思います。又、ここ数年は中途採用の離職率が高いため中途採用職員に対するフォローや指導の在り方を見直したいと思います。

3) 子どもの権利擁護と乳幼児の意見表明

権利擁護について職員の理解を深め反映させます。例えば、乳児の泣き声や喃語であってもそこには意思があり、その思いを養育者が繰り返し代弁することで子どもが安心して過ごせるということを理解します。また、養育に苦慮する“いやいや期”の幼児の対応でも「いやだ」と言える環境をも大切にして養育者は子どものすべてを受け止め心身の成長に寄り添います。そして、遊びや生活場面での子どもにとっての心地よさや楽しいと感じる体験を養育者とともに共有できる環境づくりの実現と育ちの保障を確立します。

3. 中長期計画（目標）

既存の建物を多機能化として活用していきます。

1) 子育て短期支援（ショートステイ）事業

市区町村のニーズを踏まえ、子育て短期支援事業のさらなる充実を図ります。現在も当院に隣接する児童家庭支援センターに市町村の窓口を依頼するなど協力を得てショートステイを受け入れています。受け入れの為に養育者の確保など継続的に事業を進めることが難しい状況にあります。

今後 5 年以内にショートステイの専任スタッフの配置。さらに受入れ専用棟の環境整備をし、ショートステイ事業が継続的に実施できるよう努めます。

2) 一時保護事業

措置により入所している子どもと一時保護された子どもが混在する施設環境は双方への影響が大きい為配慮したいと考えています。さらに一時保護の目的である子どもの安全な生活確保のための保護ができるよう環境整備を行います。その後、行動観察を中心としたアセスメント及び短期間での治療的支援を児童相談所と連携しながら集中的に行えるような環境と職員の資質向上を目指します。以上のことを進めるにあたり既存の建物を一時保護専用棟として利用し同時に専任職員の配置を行い多機能化に則った支援をすすめられるよう努めます。

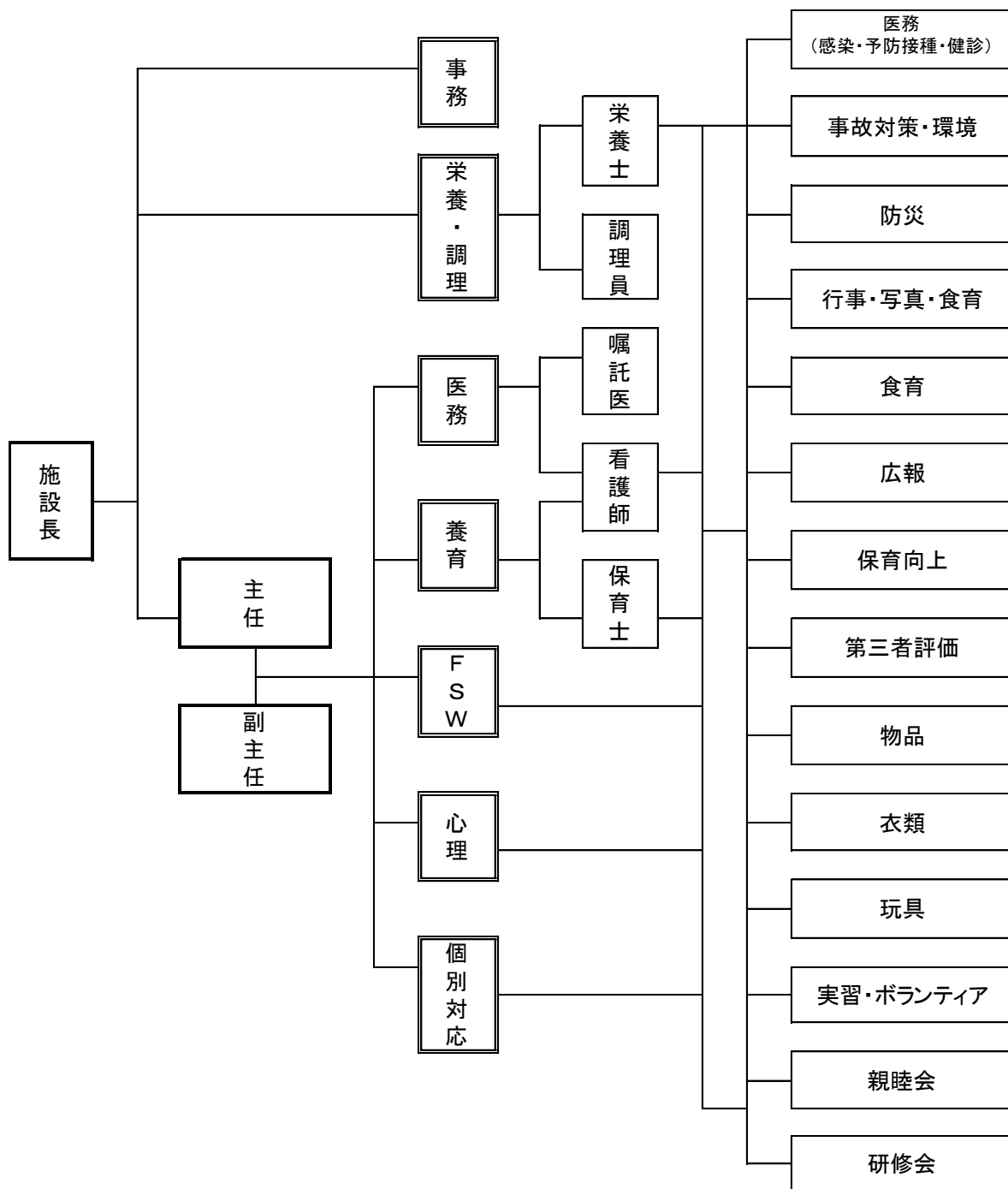
4. 研修計画

	内部研修	外部研修
4月		
5月	ケース研修会・事例検討会 「愛着について」 担当：心理士	千葉県児童福祉施設協議会「初任職員研修会」 東京都社会福祉協議会乳児部会 「新任職員研修会」
6月		第60回関東ブロック乳児院研究協議会
7月	ケース研修会・事例検討会 「危険箇所について」 担当：リスク係	第69回全国乳児院研修会
8月		
9月	ケース研修会・事例検討会 「アレルギーについて」 担当：看護師	
10月		第75回全国乳児院協議会
11月	ケース研修会・事例検討会 「施設内虐待について」 担当：主任	第43回関東ブロック乳児院協議会職員研修会
12月		
1月	ケース研修会・事例検討会 「夜間急変時の対応について」 担当：看護師	
2月		
3月	ケース研修会・事例検討会 「子どもの発達について」 担当：心理士	

5. 行事計画

	行事名	その他の行事
4月	いちご狩り 半日行事 半日行事	誕生日会 避難及び消火訓練
5月	こどもの日 一日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
6月	鴨川シーワールド 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
7月	七夕・夏祭り アンパンマンミュージアム 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
8月	夏祭り	誕生日会 避難及び消火訓練
9月	花火 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
10月	ハロウィン 鴨川シーワールド いもほり 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
11月	鴨川シーワールド 1日外出行事 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
12月	クリスマス会 1日外出行事 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
1月	お正月 初詣 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
2月	節分 アンパンマンミュージアム 1日外出行事 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練
3月	桃の節句 花見 1日外出行事	誕生日会 避難及び消火訓練

6. 組織図



VII. 児童家庭支援センター 子ども未来サポートセンターやちよ

1. 基本理念・方針

【理念】

地域の児童家庭及び、より支援を必要とする児童家庭の福祉の向上のため、地域の様々な社会資源とつながり支援します。

【方針】

- 地域の児童家庭の様々な問題について真摯に対応し、最善の支援を目指します。
- 関係機関と連携し、児童福祉におけるネットワーク強化を目指します。
- 児童の安全や、より多くの見守りが求められる支援では、必要なスキルを生かし柔軟な支援を目指します。

2. 令和8年度事業計画

- 1) 地域・家庭からの相談に応ずる事業の実施
- 2) 市町村の求めに応ずる事業の実施
- 3) 都道府県又は児童相談所からの受託による指導の実施
- 4) 里親等への支援の実施
- 5) 関係機関等との連携・連絡調整の実施
- 6) 子育て短期支援事業受付業務の実施
- 7) 地域交流事業（親子ひろば等）の実施
- 8) 広報・啓発活動の実施
- 9) 周辺地域の児童家庭支援センターとの効率的・効果的連携の実施
- 10) 児童相談所の新たな管轄割りに対応した支援活動の実施

3. 中長期計画（目標）

- 地域で安心・安全に生活することが困難な家庭に支援が行きわたるように活動していく。
- 要保護・要支援児童に関わる家庭への支援をより充実させるため、その必要性を行政機関やその他関係機関に発信していく。
- 多くの地域住民や関係機関から子ども未来サポートセンターやちよの活動目的を理解してもらい、利用されることで、地域の相談支援機関として中心的な役割を担えるようにしていく。

VIII. ゆうゆう保育園

1. 基本理念・方針

【理念】

自然の中で、のびのびゆったりとした保育環境を整え、遊びを通じ、心身ともに健康で自主性・社会性を身につけられ、子どもの利益と福祉を考えた保育園を目指します。

【方針】

- 1) 月齢、年齢に応じた遊びの提供
- 2) 一人ひとりの個性を育てつつ、安心して過ごせるよう見守る
- 3) 異年齢児との交流、思いやり、社会性を身につけられるよう支援する

2. 令和8年度事業計画

当保育園は定員 90 名の認可保育園として、平成 23 年度に開設され、乳幼児の保育にあたってきました。

地域における保育ニーズは高く、当保育園への入園希望も多い状況ですが、保育士不足のため、定員に満たない園児数の受け入れになります。

現在、保育園の保育士として働きたいという学生が減少しています。乳児から幼児、そして小学校につなげていく保育という大変さもありますが、成長の過程を保護者と共に見守ることで保育園の保育士として充実できる時間を過ごすことができます。

今年度も人材確保に向けて、保育園で働くことの魅力をつたえていくために保育園見学会や一日体験、又行事の見学会等を学生に向けて開催します。

令和8年度においても、地域の状況等を考慮し、引き続き、入園児の受け入れに努めます。

16年目を迎える今年度は、これまでの取り組み実績の上にさらに充実した保育に努めていくこととし、子どもたちが元気に安心して生活できるよう、保育環境の向上に取り組みつつ、きめ細かい養護及び教育に努めていくこととします。又、地域における子育て援助、支援において期待される役割を果たすため、地域支援センター事業の推進・充実に取り組んでいきます。

さらに、よりよき保育のためには、職員の資質向上が重要であり、積極的に職員研修に取り組み、充実強化に努めます。

1) 通常保育、時間外保育受入計画

令和7年度の通常保育は90人の定員に対し、91人の園児を受け入れました。四街道市における令和8年1月1日現在の待機児童数は237人であり、地域における高い保育ニーズに応えていきたいが、令和8年度は、保育士不足のため、0歳児の受け入れを中止とし、正職員1名を採用、全児童数としては84人を予定しています。

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6人	12人	18人	18人	18人	18人	90人
入園予定数	0人	10人	16人	19人	20人	19人	84人

2) 保育内容

- 心身ともに元気な子
- 思いやりのある心を持つ子
- 自分で考える力を持ち自主性、協調性のある子

保育目標として掲げた、育成に向けて、養護、教育を一体化した保育の充実に努めます。子どもの成長発達段階、さらに一人ひとりの持つ個性や能力に配慮した保育サービスの向上に努めます。引き続き、言葉や数についての感覚や能力の向上にも力を入れていくとともに、しっかりした挨拶のできる子、運動能力の向上にも努めます。

なお、温かい保育に努めることとし、誉める、励ます、優しくする、愛情が伝わる関わり方等について職員一同、いっそう心を払っていくよう努めます。

また、保護者の就労形態に対応し、通常の保育時間を超えた時間外保育を実施します。

3) デイリープログラム

時間	0・1・2歳児	3・4・5歳児
7:00	順次登園	順次登園
～時間外保育	視診	視診
8:30	自由遊び	自由遊び、排泄、水分補給
9:30	排泄、補食	朝の会
10:00	遊び、日光浴、外気浴、着替え	主活動
10:45	0歳児離乳食から順に	
11:00	1・2歳児給食	給食準備
12:00	排泄後、午睡	給食
13:00		うがい、排泄、午睡
14:40	起床、排泄	起床、排泄
15:00	おやつ	おやつ
15:45	排泄、水分補給	帰りの会、排泄、水分補給
16:00	順次降園	順次降園
17:00		
～時間外保育	閉園	閉園
19:00		

3. 中長期計画（目標）

福祉サービスは、多様なニーズと社会動向により変化しており、2015年子ども・子育て新制度そして、2019年幼児教育・保育の無償化がスタートし、それらを分析・検討して適切な対応をしております。

福祉人材の確保も困難が予想され、人材の確保は留意すべき重要項目となっております。これらを踏まえ、保育園のあるべき姿を模索し、一層の組織強化を図り、多様な社会動向の変化に適応できる組織と地域福祉の向上に貢献する適切なサービスを提供する事を目的として中長期計画を策定します。

1) 計画期間令和8年度～令和10年度【3年間】

2) PDCAを活かした保育計画

Plan＝保育課程 Do＝目標を理解し保育する Check＝客観的な視点で評価
Action＝目標は子どもに合っていたか見直す

保育目標の実現に向けて計画を立案し行う。その結果を踏まえ修正を行い、検証を次期計画の作成につなげる。又、職員が研修、職員会議、ケース会議に参加しスキルアップを図り、専門能力を身に付け、子どもや保護者に対し対応力を強化する。

3) 人事労務の職員への浸透

職員の各種労働規定の理解を深める。又、時間外労働をなくす事を課題とし、時間捻出の為、仕事の要不要の仕分けを行い、計画の見直し、教材の再利用、会議は時間内で具体性を意識しながら進めた。これからも職員の意識を高め、主体的に職員間で自分達の課題を解決していき職員の質を高める。

4) 施設整備

社会福祉法人として意義・役割を認識し、充実を図るため施設整備の計画を行う。

- 必要な部分について修繕を行う
- 保育園園舎内外の整備修繕
- 保育園園庭の整備維持

5) 地域ニーズの把握

保育園近隣に新興住宅があり、引き続き地域のニーズに応え、保育士確保と乳幼児の受け入れ増に努める。また、第一入所希望第一位の継続を目指す。

6) 人事管理

- 職員の資質の向上にあたり勉強会・研修会に積極的に参加する。
- 事業運営を積極的に展開していく為に、採用・育成・評価・処遇を一体的に考えた適切な人事管理を行う。
- 職員が仕事・家庭を両立できる働きやすい職場づくりを目指していく。
育児休暇・年次有給休暇を取得促進する。
- 発達支援児の人数が年々増加傾向にあり、保育士の精神的負担が大きくなっている。関係機関と連携し、子どもの対応の仕方や保護者とのコミュニケーションの取り方等の情報を共有し、保育士の精神的負担の軽減を目指す。

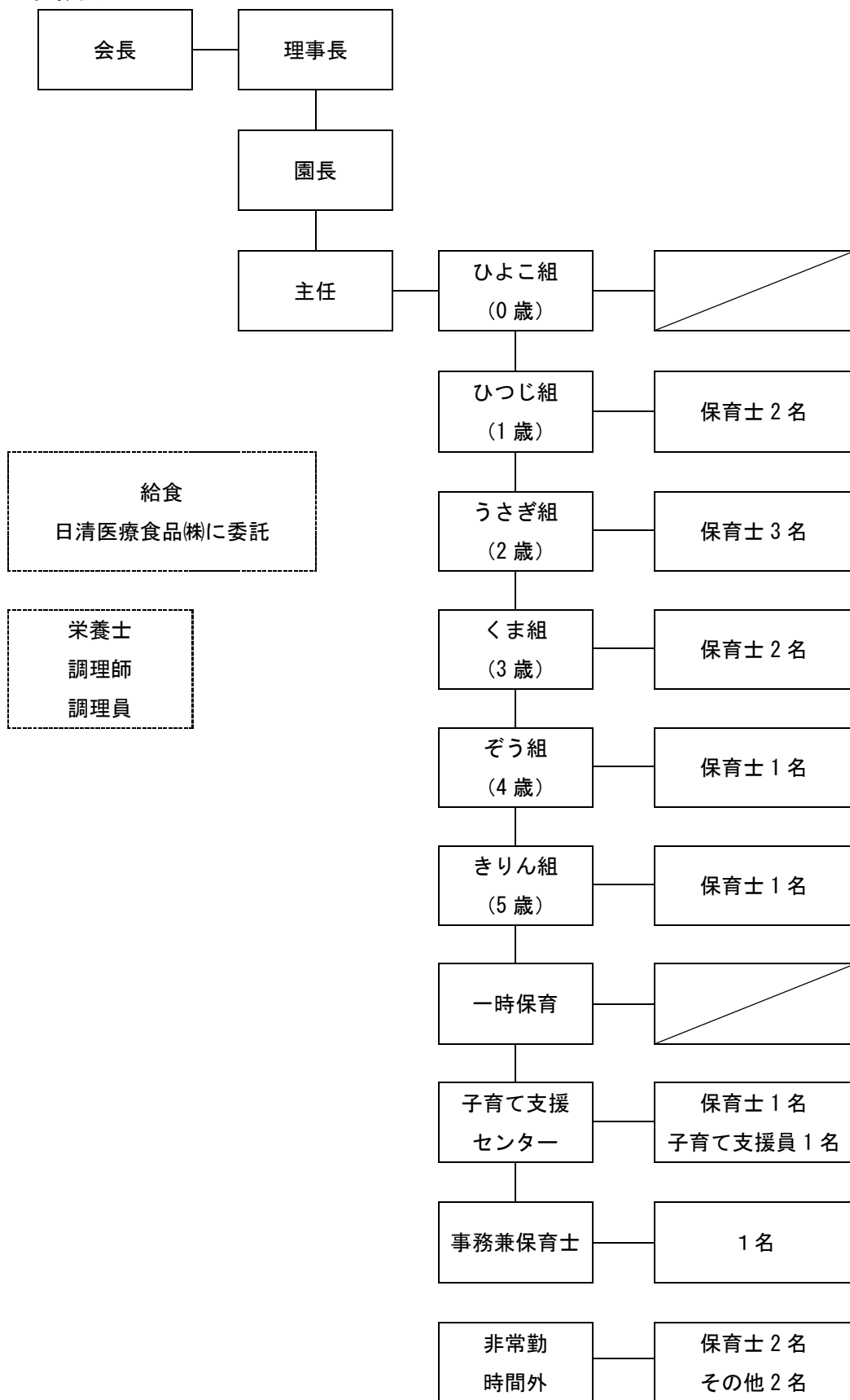
4. 研修計画

	内部研修	外部研修
4月	職員会議（リスクマネジメント） （緊急時対応；病気） （気になる子について）（各係から） フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・献立）	新人研修 市内全園会議（園長・主任）
5月	職員会議（人権擁護について） フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・献立）	
6月	職員会議 フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・献立）	子育て支援研修（子育て支援担当） 初級保育士研修（経験年数1－3） アレルギー研修・体操研修（全職員） 特別支援連絡会議（園長・主任）
7月	職員会議 フロー－会議（周知事項・熱中症対策） 給食会議（食事時間変更・個別対応）	中堅保育士研修（経験年数3－5） 保幼小連教育研修会（園長・主任）
8月	職員会議 フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・献立）	中堅保育士研修（経験年数3－5） 特別支援教育研修（園長・主任）
9月	職員会議 フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・献立）	発達支援研修（全職員） 主任保育士研修（主任）
10月	職員会議 フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・献立）	子どもの虐待についての研修（全職員）
11月	職員会議 フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・献立）	乳児保育研修（未満児担当職員）
12月	職員会議 フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・行事食）	子育て支援研修（子育て支援担当） 保育園振興大会（全職員）
1月	職員会議 フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・献立）	主任保育士研修（主任） 食育推進担当者研修（園長・調理室） 特別支援教育連絡会議（園長・主任）
2月	職員会議（面談報告会）（職員配置発表） フロー－会議（周知事項） 給食会議（個別対応・進級に向けて）	保育園における人権擁護のための研修（全職員）
3月	職員会議 フロー－会議（進級に向けて） 給食会議（個別対応・新規面談）	

5. 行事計画

	行事名	その他実施
4月	入園進級の会・クラス交流会	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室 リトミック教室
5月	歩き遠足	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室
6月	保育参加・歯科検診・内科健診 個人面談・交通安全教室・通報訓練	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室 リトミック教室
7月	保育参加・水遊び・消火器訓練・泥遊び	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室
8月	夏まつり・水遊び・ボディーパーainting	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室 リトミック教室
9月	運動会練習	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室
10月	運動会・歩き遠足	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室 リトミック教室
11月	内科健診・お楽しみ会練習	誕生会・身体測定 避難訓練・体操教室
12月	お楽しみ会・クリスマス会・餅つき	誕生会・身体測定 避難訓練・体操教室 リトミック教室
1月	新年会、鏡開き・おなか元気教室・書初め	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室
2月	個人面談・人形劇鑑賞会	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室 リトミック教室
3月	入園説明会・お別れ会・お茶会・卒園園足 卒園式	誕生会・身体測定・お話し会 避難訓練・体操教室

6. 組織図



IX. 特別養護老人ホーム ゆうゆう苑

1. 基本理念・方針

【理念】

- 1) その人らしい生活環境を提供できるケア
- 2) 地域福祉の拠点として
- 3) 「気づき」を「築く」

【方針】

- 1) ご利用者様が常に快適に過ごせるようなケアを目指し、その人らしく生活できるための支援を行なっていきます。
- 2) 地域との連携を図りながら、相互に理解を深め、地域福祉、高齢者介護の拠点としての役割を担っていきます。
- 3) 人生の先輩であるご利用者様から多くを学ぶという姿勢のもと、自らの介護に「気づき」を築いていきます。

2. 令和8年度事業計画

【特別養護老人ホーム】

- ① 介護サービスの質の向上
個別ケアの充実、多職種連携の強化、看取りケアおよび生活リハビリの推進により、利用者一人ひとりの尊厳ある生活の実現を図る。
- ② 介護テクノロジー活用と業務改善
見守り機器および ICT 記録システムの活用定着を図り、データ活用によるケアの質向上と業務効率化を推進する。
- ③ 8時間夜勤体制の安定運用
夜間業務の安全性確保と職員負担軽減を両立し、8時間夜勤体制の定着と安定運用を推進する。
- ④ 人材確保・育成・定着の推進
多様な人材の確保、介護福祉士資格取得支援、OJT および研修体制の整備により、職員の定着と専門性向上を図る。
- ⑤ 働きやすい職場環境の整備
業務負担軽減の継続的改善、外国人職員支援体制の整備、ハラスメント防止の推進により、安心して働ける職場環境を構築する。
- ⑥ 安全対策および感染症対策の強化
転倒・誤嚥・誤薬事故の予防活動の推進と感染症対策の徹底、防災・災害対策体制の整備を図る。

- ⑦ 経営基盤の安定強化
稼働率 95%以上の維持、空床期間短縮、ショートステイの活用および加算取得体制の維持により、安定した施設運営を推進する。

【デイサービス】

- ① 自立支援・機能訓練の充実
個別機能訓練および生活機能向上プログラムを推進し、在宅生活の維持・改善を支援する。
- ② 利用者満足度の向上
個別ニーズに応じたケア、レクリエーション、交流機会の充実により、満足度の高いサービス提供を行う。
- ③ 稼働率向上と利用促進
居宅介護支援事業所との連携強化、空き枠管理の徹底により、新規利用者確保と利用回数増加を図る。
- ④ 介護の質の向上と安全確保
事故防止、誤嚥・転倒予防、健康管理体制の強化により、安全で安心なサービス提供を行う。
- ⑤ 職員の専門性向上と人材定着
研修参加促進、資格取得支援、OJT体制の充実により、職員の専門性向上と定着を図る。
- ⑥ 業務効率化と ICT 活用
記録業務および情報共有の効率化を図り、業務負担軽減とサービス時間の充実につなげる。
- ⑦ 安定した事業運営
稼働率の維持向上と加算取得体制の整備により、安定した事業収益の確保を図る。

3. 中長期計画（目標）

- 1) 個別ケア、自立支援、看取りケアの充実を図り、利用者一人ひとりの尊厳ある生活を支える質の高い介護サービスを継続的に提供する。
- 2) 介護テクノロジー活用、業務改善、8時間夜勤体制の安定運用、人材確保・育成・定着を推進し、介護人材不足下においても安定したサービス提供が可能な体制を構築する。
- 3) 特養および在宅サービスの稼働率向上と維持、加算体制の強化、効率的な事業運営を推進し、将来にわたり持続可能な法人経営基盤を確立する。

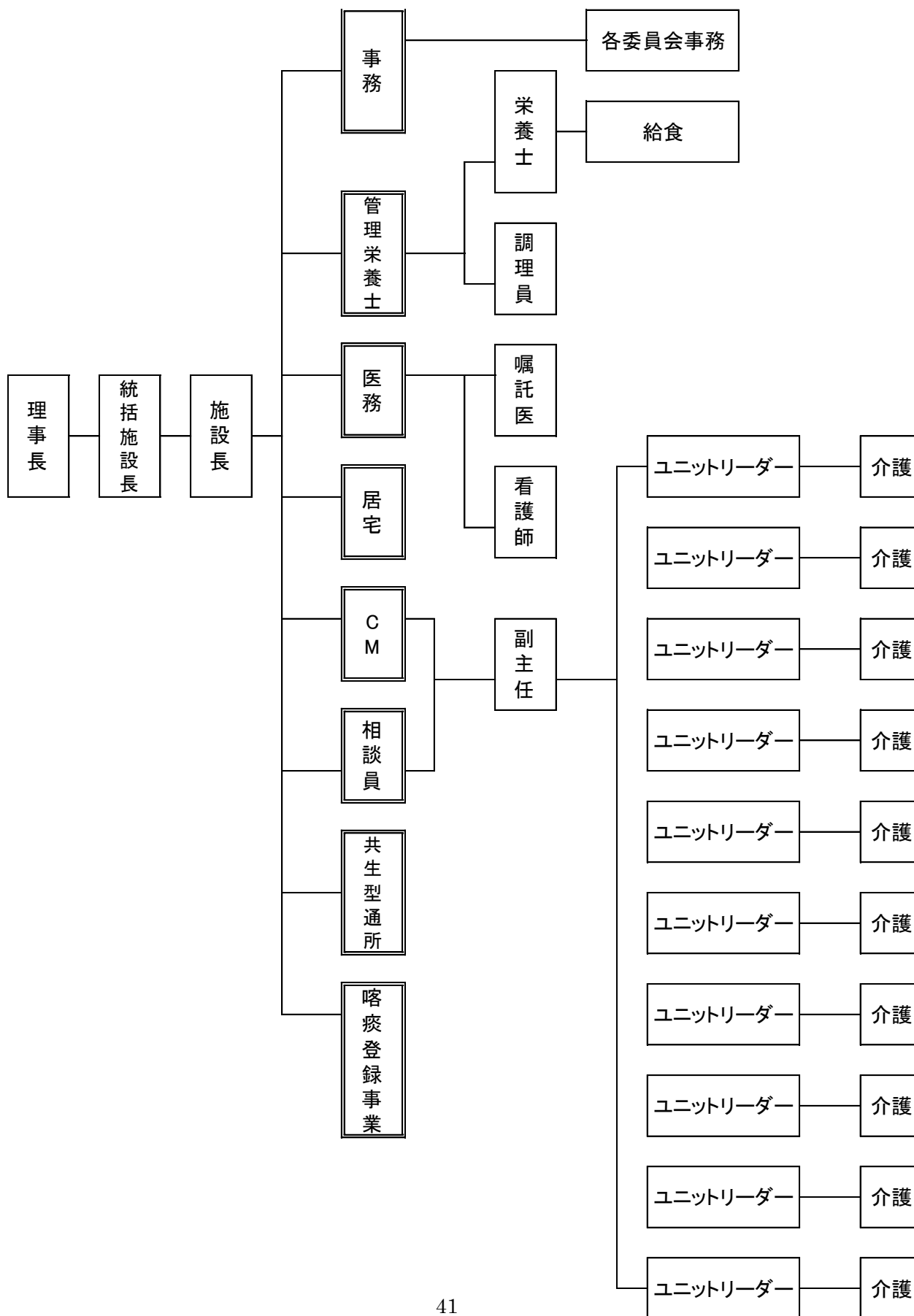
4. 研修計画

	施設内研修	委員会
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症（2回） ・口腔ケア・AED研修 ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待撲滅、身体拘束 ・業務継続
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下トロミ研修 ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故対策 ・給食
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇（2回） ・避難訓練 ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策 ・業務継続
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待撲滅、身体拘束 ・ハラスメント
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・事故対策について（2回） ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故対策 ・業務継続 ・給食
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策 ・行事委員会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、身体拘束、メンタルケア研修（2回） ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待撲滅、身体拘束 ・ハラスメント ・業務継続
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故対策 ・業務継続 ・給食
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策（2回） ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策 ・業務継続
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待撲滅、身体拘束 ・ハラスメント
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、不適切、身体拘束（2回） ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故対策 ・業務継続 ・給食
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・eラーニング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策 ・業務継続

5. 行事計画

	行事名	毎月実施
4月	お花見 庭園・玄関前・ユニットにて	誕生日会
5月	端午の節句・母の日のお祝い こいのぼり作成	誕生日会
6月	父の日のお祝い 七夕飾り作成	誕生日会
7月	七夕飾り かき氷作り	誕生日会
8月	納涼祭 すいか割り大会	誕生日会
9月	敬老会 敬老のお祝い	誕生日会
10月	ハロウィンパーティー	誕生日会
11月	収穫祭 焼き芋づくり	誕生日会
12月	クリスマス会 ツリーの飾り、イルミネーション創作	誕生日会
1月	書初め 初詣	誕生日会
2月	節分祭	誕生日会
3月	ひな祭り	誕生日会

6. 組織図



X. 訪問看護ステーション ゆめ

1. 基本理念・方針

【理念】

- 1) 地域医療の向上と社会福祉の増進を図るための事業の一環として、在宅療養者の生活の質の向上と利便を図ります
- 2) 心身の機能の保持、増進、快復を図り、疾病や障害による影響を最小限にとどめ、安らかな終末を過ごすことができるように、療養生活を支援します

【方針】

- 1) 利用者様と家族の価値観や意思を尊重し、安心して療養生活を過ごしていただけるよう支援します
- 2) 質の高い看護サービスを提供し、利用者様が安心してサービスを利用できるように、信頼関係の構築に努めます
- 3) 地域の医療機関、主治医、各事業所との連携を密にし、利用者様の在宅医療に必要な情報やサービスが提供できるよう支援します
- 4) スタッフは、訪問看護に必要な技術と知識を磨き、統一した訪問看護サービスが提供できるように努めます

2. 令和8年度事業計画

団塊の世代が75歳以上となり、超高齢者化社会へと突入しました。高齢化率は上昇を続ける中、平均寿命は男性81歳、女性は87歳と健康寿命との差があり、何かしらの健康問題を抱えながら、暮らしている方が増えています。ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者が増加し、医療や介護サービスが必要とされる中、労働人口の減少や物価高騰、報酬改定により、需要と供給のバランスが崩れつつあります。

病院や在宅診療では、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）が推進され、自身が望む医療やケアを前もって考え、親族や医療、介護チームとの共有が行われることが増えました。利用者様本人の意向だけではなく、経済的な理由や自宅環境の事情、施設入所の待機などで、自宅療養せざるを得ない方も増えており、在宅看護を必要とする方は、増加する一方です。法人内では、重度障害者グループホームを開設し、介護保険制度以外のサービスを提供する場が出来ました。制度の違いだけではなく、若年層への医療の提供と障害サービスとの連携も新たな取り組みとして、求められるようになりました。

質の高い訪問看護サービスの提供を実施し、地域医療に貢献するとともに、住み慣れた地域で暮らして行けるよう支援します。

専門的な知識・技術の研鑽に努め、選ばれる訪問看護ステーションとなるような看護を実践します。

看護師だけに限らず、セラピストの採用を積極的に行い、住み慣れたご自宅での療養支援、地域に密着した在宅サービス、継続的に安定した訪問看護ができるようにしていきます。

ICT 利用により、効率的な業務遂行に努め、他職種との情報共有やスキルアップのための時間を確保します。

3. 中長期計画（目標）

- 1) 利用者様の確保
 - ・ステーションの周知
 - ・居宅支援事業所、地域包括支援センター、医療機関との連携
 - ・法人内施設との連携
- 2) 人材育成と質の高いサービスの提供
 - ・定期的な研修、事例検討の実施
 - ・虐待防止委員会の開催
 - ・外部研修への参加
 - ・看護師、リハビリ職の採用
- 3) 新興感染症や流行感染症対策の強化
 - ・感染予防のための研修や訓練の実施
 - ・衛生物品の確保
- 4) 業務継続に向けた取り組みの強化
 - ・DCP策定と見直し
 - ・研修や訓練の実施
- 5) 人材確保と職場環境
 - ・働きやすい環境作り
 - ・労務状況の見直し
 - ・緊急対応や看取り、夜間のオンコール対応者への配慮
 - ・ICT化への推進
 - ・社用車運用の統一と事故防止策の共有

4. 研修計画

	内部研修	外部研修
4月	高齢者虐待	開催日時に応じ参加 ・緩和ケア ・難病 ・認知症 ・口腔ケア ・スキンケア ・地域連携
5月	報酬改定	
6月	難病看護・事例検討	
7月	緊急時対応・事例検討	
8月	災害時対応	
9月	認知症看護	
10月	ターミナル看護・事例検討	
11月	感染症看護	
12月	スキンケア	
1月	人工呼吸器・在宅酸素	
2月	カテーテル管理	
3月	精神衛生	

XI. 障がい者向けグループホーム ゆうか

1. 基本理念・方針

【理念】

- 1) 入居されている方々が、安心して暮らすことができるために“安全で快適な住環境”を整えます
- 2) 入居されている方々が、“自分の意思で自分らしく暮らす”を実現させるために、気持ちに寄り添い、お一人おひとりの暮らしを支えます
- 3) 入居されている方々が、“社会の一員として地域で暮らし続ける”ことができるように、地元地域や関係機関と連携してサポートいたします

【方針】

- 1) 必要備品、物品の整備を行い、ご入居者にとって快適な環境を整えるとともに、スタッフが働きやすい環境を整えます。
- 2) お一人おひとりの状況に合わせて、個々に必要な日常生活に対する支援を行います
- 3) 集団活動プログラム及び個別活動プログラムの整備、準備を行い、日中活動の充実を目指します。
- 4) 花島公園至近という地の利を活かし、屋外活動の充実を図ります。
- 5) 地域情報の収集を行い、地域社会とのつながりを模索します。
- 6) より良い支援を行うためのスタッフ育成を行います。

2. 令和8年度事業計画

重度の障がいがあっても、育ち暮らした地元地域で社会の一員として暮らし続けることができるように、千葉市をはじめ近隣市町村、福祉、医療その他関係機関等と連携を図り、安心して快適に暮らすことができる住まいの場を提供すると同時に、くつろぎ楽しめる日中活動の場としてのサービスを提供するため、2026年2月1日、グループホームゆうか（重度障がい者向け、日中サービス支援型共同生活援助）は新規オープンいたしました。

木造2階建てで新築のグループホームは、入居20床、短期入所1床の受け入れが可能な建物となっていますが、2月の開所時には、1階のみ10床からのスタートとなりました。

それに伴い、自宅で暮らす重度の障がいがある方（お子様含む）が安定した在宅生活を続けることができるように、社会との繋がり強化や支えるご家族のレスパイト等を目的とする短期入所サービスは、1階部分での空床利用型としてスタートいたしました。

グループホームゆうかは、地域に根付いた社会福祉法人として地域貢献を意識し、

利用者お一人おひとりの心身の特性とお一人おひとりを取り巻く環境を考慮した福祉サービスを提供したいと考えております。

そして支援を通して利用者お一人おひとりとそのご家族が、安心して心豊かに笑顔で過ごして頂けることを願い、またサービスを提供する職員も笑顔でいられる支援環境を構築し、共に生きる喜びを感じ、ご利用者と職員双方にとっての居場所となる事業所作りを目指して参ります。

- ① 効果的な情報発信と入居者受け入れ
- ② 支援スタッフの育成
- ③ 安全で快適な住環境の整備
- ④ 日中活動充実のためのプログラム整備
- ⑤ 法人内訪問看護ステーションゆめをはじめとする関係機関との連携強化

3. 中長期計画（目標）

- 1) 安定した運営ができるよう、効果的な情報発信と入居者受け入れを行い、早期の20床満床を目指す
- 2) 新規採用スタッフの定着及びスタッフ個々の支援技術の安定

4. 研修計画

	事業所内研修	外部研修 (WEB 研修含む)
4 月	入職時研修 ①グループホームゆうかについて ②ゆうかの仕事 ③感染症予防について ④BCP について ⑤障がい者虐待防止について ⑥身体拘束適正化について ⑦障がい者の理解～入口編 ⑧介護の基本 (講義と演習) ・姿勢と動きに対する支援 ・食事の支援と口腔ケア ・清潔・整容の支援 ・排泄の支援 ケース検討会	障がい者の理解に関する研修 障がい者支援に関する研修 障がい者虐待防止に関する研修 メンタルケアに関する研修 身体拘束適正化に関する研修 感染症予防に関する研修 ハラスメント対策に関する研修 喀痰吸引研修など ※委員会その他の役割に応じた研修への参加
5 月	避難訓練 ケース検討会	
6 月	介護技術演習 ・姿勢、移乗、移動、車いす操作 ケース検討会	
7 月	消防訓練 リスクマネジメント研修 ・事故防止・個人情報保護・意思決定 ケース検討会	
8 月	接遇研修 ケース検討会	
9 月	介護技術研修 ケース検討会	
10 月	感染症予防について BCP (感染症) に対する理解	
11 月	BCP (感染症) 机上訓練および実動訓練 ケース検討会	
12 月	BCP (自然災害) に対する理解 BCP (自然災害) 机上訓練 ケース検討会	
1 月	BCP (自然災害) 実動訓練 ケース検討会	
2 月	権利擁護研修 ・障がい者虐待防止と身体拘束の適正化について ・メンタルケアについて ケース検討会	
3 月	避難訓練 (夜間想定) ケース検討会	

5. 行事計画

行事名	
4月	お花見（花島公園） お誕生会
5月	こどもの日行事 お誕生会
6月	梅雨をぶっとばせ！ お誕生会
7月	七夕行事 お誕生会
8月	夏祭り お誕生会
9月	お月見 お誕生会
10月	スポーツ大会 ハロウィンパーティー お誕生会
11月	芋ほり ブラックフライデー言う名のイベント お誕生会
12月	クリスマス会 お誕生会
1月	お正月行事 お誕生会
2月	節分行事 お誕生会
3月	ひなまつり お誕生会

6. 組織図

